

だれでもできる KENTEM-CONNECT

目次

□ KENTEM-CONNECT の概要

- 01 KENTEM-CONNECT について 1
- 02 KENTEM-CONNECT の画面構成 2

□ KENTEM-CONNECT を操作する前に

- 03 クラウドサービス管理画面でKENTEM-CONNECTを使用できるように設定する 3
- 04 SITECH 3Dの3D施工データを出力する 9
- 05 SITE-Scope のデータを転送する 15
- 06 SITE-NEXUS のデータを転送する 18
- 07 ファイルをKSデータバンクにアップロードする 20

□ KENTEM-CONNECT の操作

- 08 KS データバンクからファイルを取り込む 23
- 09 3D データを共有する 27
- 10 3D データの任意の位置にメモを追加する 29
- 11 画像・動画ファイルを取り込む 31
- 12 快測ナビでKENTEM-CONNECTと連携する 34
- 13 快測ナビモニターを使用する 37
- 14 遠隔臨場SiteLiveでKENTEM-CONNECTと連携して検査を実施する 42

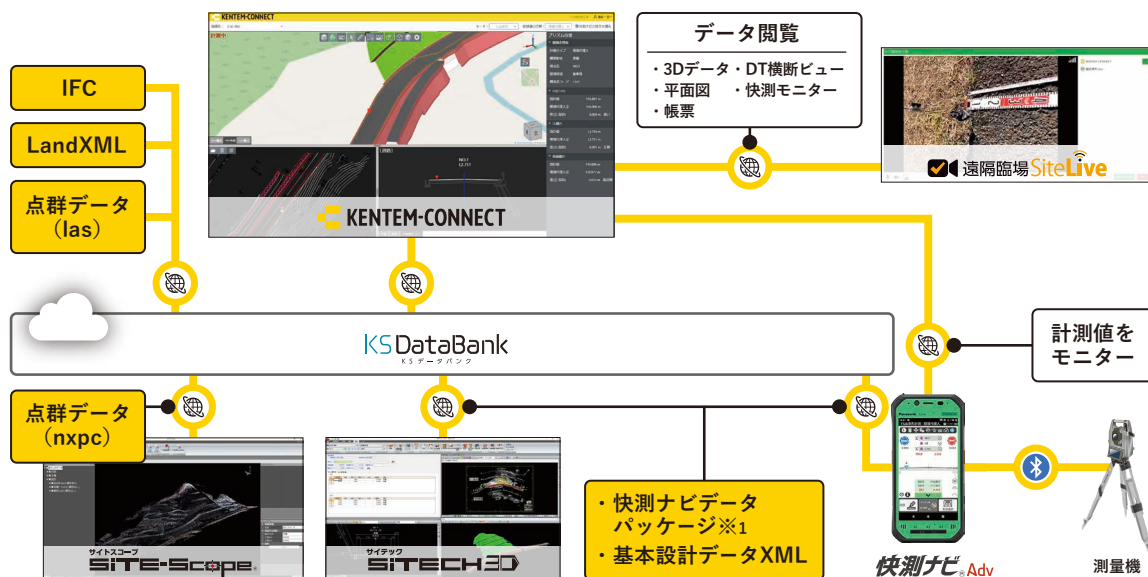
STEP 01

KENTEM-CONNECT について

KENTEM-CONNECT についてご説明します。

「KENTEM-CONNECT」は、ブラウザで動作する 3D データ閲覧・共有の新たなプラットフォームです。測量端末とクラウドを接続し、PC 上の 3D データ（サイバー空間）と建設現場（フィジカル空間）をリアルタイムに繋ぎます。「KENTEM-CONNECT」によるデジタルツインの実現で、非対面での働き方を支援し、建設業のニューノーマル（新常态）な働き方をご提案します。

アプリケーションとの連携イメージ



※ 1 快測ナビデータパッケージとは、「路線データ」「図面データ (CAD)」「座標データ」「サーフェスデータ」を出力したデータのことです。

※ 2 「KENTEM-CONNECT」のご利用には、別途「KS データバンク」(有償) のご契約が必要です。

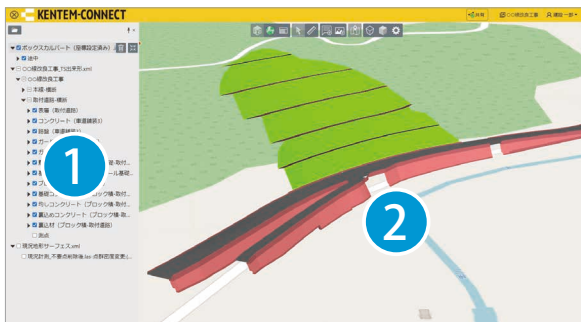
※ 3 「KS データバンク」「遠隔臨場 SiteLive」の連携は、「KENTEM-CONNECT」と同一のクラウドサービス ID でのご契約が必要となります。

※ 4 データのアップロードおよびシステムのご利用には、インターネット接続環境が必要です。

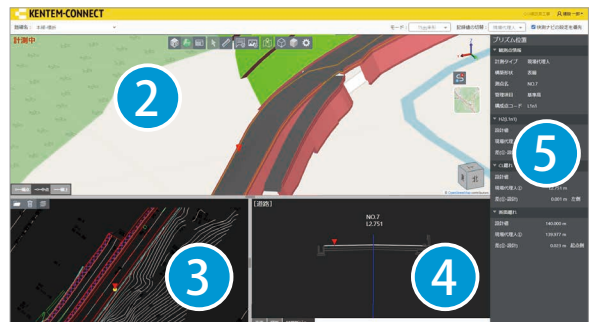
STEP 02

KENTEM-CONNECT の画面構成

KENTEM-CONNECT の画面構成についてご説明します。



3D ビュー



快測ナビモニター

1 モデルツリー

3D モデルをツリーで表示します。
チェックボックスで、表示 / 非表示の切り替えが可能です。

2 3D ビュー

取り込んだデータを 3D で表示する領域です。
マウス操作 (P25) や 3D ビュー右下のナビゲーションキューブの任意の箇所をクリックすることで、視点移動が可能です。

3 平面図ビュー

KS データバンクにアップロードした図面を表示します。
プリズムの計測位置がリアルタイムに表示され、快測ナビ側で記録した箇所には、マーカーが表示されます。

4 線形・DT 横断ビュー

「平面ビュー」「縦断ビュー」「DT 横断ビュー」を表示します。
任意のビューをタブで切り替えることができます。
また、「DT 横断ビュー」では、プリズムの計測位置がリアルタイムに表示され、快測ナビ側で記録した箇所には、マーカーが表示されます。

5 プリズム位置 / 記録点情報

観測点情報や標高、CL 離れ、断面離れ、設計面との差、設計点との差、観測点座標などのプリズムの計測位置の情報が表示されます。
また、3D ビュー上でクリックしたマーカーの記録点情報を確認することができます。

STEP

03

クラウドサービス管理画面でKENTEM-CONNECTを使用できるように設定する

KENTEM-CONNECT を使用するには、クラウドサービス管理画面での設定、およびKS データバンクのインストールが必要です。

設定の流れ

01 | 管理者情報の登録

P4

[管理者が行う操作です]
管理者情報を登録し、クラウドサービスを利用できる状態にします。

02 | メンバー招待 KENTEM-CONNECT 利用権限

P6

[管理者が行う操作です]
クラウドサービスを利用するメンバーをメールで招待します。招待メール送信時に、KENTEM-CONNECT の利用権限を設定します。

03 | 個人情報の登録

P7

[メンバーが行う操作です]
招待メールからクラウドサービス管理画面を起動し、個人情報を登録します。

04 | KSデータバンク インストール

P8

KS データバンクをインストールします。
KS データバンクは、構造物モデルや地形モデル、平面図などの各種データを保管するクラウドサービスです。

詳しい操作方法についてのご案内

このマニュアルでは、基本的な操作の流れを説明しています。
クラウドサービス管理画面の詳しい操作については、「クラウドサービス管理画面 基本操作マニュアル」または「ヘルプ」をご覧ください。



01 | 管理者情報を登録します。

1 以下のアドレスにアクセスし、クラウドサービス ID・メールアドレスを登録します。

ログイン用アドレス <https://my.ks-cloud.net/first>

クラウドサービス管理画面

管理者情報の登録

この度は、ご成約ありがとうございます。
クラウドサービスIDと管理者のメールアドレスを入力して「登録する」ボタンを押してください。

クラウドサービスID 1 入力

メールアドレス

2

クラウドサービス ID は、ご注文時に送信させていただいたメールをご確認ください。

差出人：建設システムクラウドサービス
(ks-cloud@kentem.co.jp)

件名：「クラウドサービス」登録完了のお知らせ



2 管理者情報の登録が完了しました。
※登録されたメールアドレスにメールが送信されます。

クラウドサービス管理画面

管理者情報の登録完了

以下のアドレスにメールを送信しました。

3

3 メール URL からクラウドサービス管理画面を立ち上げます。

ご利用いただきありがとうございます。

以下のURLをクリックして、メンバー登録の続きを行ってください。

<https://my.ks-cloud.net/>

このメールは送信専用のため、返信はお受けできません。

4

4 引き続き、名前・パスワードを登録します。

④ メンバー情報の登録

下記の内容を入力して「登録する」ボタンを押してください。

メンバー情報

氏名 **必須** 姓 建設 名 一部

パスワード **必須** ●●●●●●●● **5** 入力
半角大文字・小文字・数字・記号を含めた10文字以上

パスワード (確認用) **必須** ●●●●●●●●

アプリケーション選択 SiteBox 利用規約

5 利用規約に同意し、登録を完了します。

アプリケーション選択 SiteBox 利用規約

SiteBox 利用規約

この規約（以下、「SB規約」といいます。）は株式会社建設システム（以下、「当社」といいます。）と、当社の提供する SiteBoxに係るサービス、又はアプリケーション（以下、「SBサービス」といいます。）を利用するお客様との間の権利義務を定めさせていただきます。

利用規約に同意する **7**

登録する **8**

6 確認

クラウドサービス管理画面 ④ ヘルプ

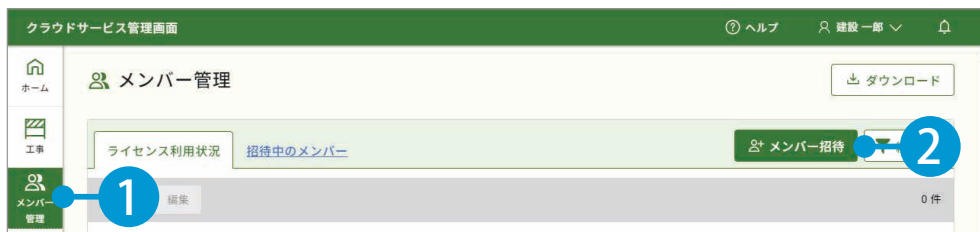
🔍 メンバー登録の完了

メンバー登録が完了しました

完了 **9**

02 | クラウドサービスを利用するメンバーをメールで招待します。

1 [メンバー管理] → [メンバー招待] をクリックします。

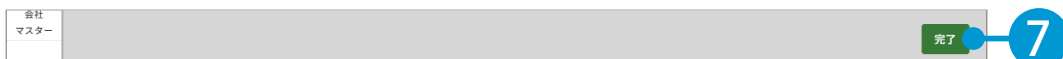


2 招待するメンバーのメールアドレスを入力します。



※個人のメールアドレスをお持ちでない場合は、フリーのメールアドレスをご登録していただく必要があります。

3 メンバーの権限等を設定し、KENTEM-CONNECTの[利用]にチェックを付けます。



※登録した各メールアドレスに、招待メールが配信されます。配信されたメールには、有効期限があります。

あとでメンバーの権限を変更する場合

[メンバー管理] より、メンバーの権限を変更することができます。

03 | 招待メールから、個人情報を登録します。

1 招待者にはメールが届きます。メールの URL をクリックし、クラウドサービス管理画面を起動します。

ご利用いただきありがとうございます。

以下のURLをクリックして、メンバー登録の続きを行ってください。

<https://my.ks-cloud.net/>

1

このメールは送信専用のため、返信はお受けできません。

2 名前とパスワードを入力します。

3 利用規約に同意し、登録を完了します。



04 | KS データバンクをインストールします。

1 [App一覧] → [インストーラ] をクリックします。



※インストールの手順に関しては、[マニュアル] をクリックし、ダウンロードしてください。

KS データバンクの操作について

ヘルプ機能をお使いください。
KS データバンクの画面上的 [ヘルプ] タブ
→ [ヘルプ] でヘルプが起動します。



STEP 04

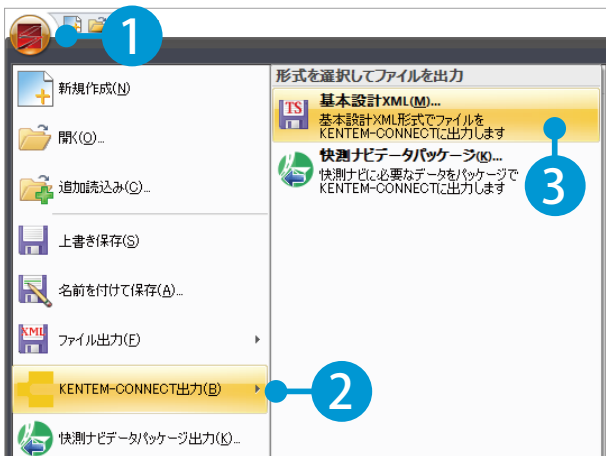
SiTECH 3D の 3D 施工データを出力する

SiTECH 3D で作成した 3D 施工データを出力します。

「SiTECH 3D」の手順が含まれます。

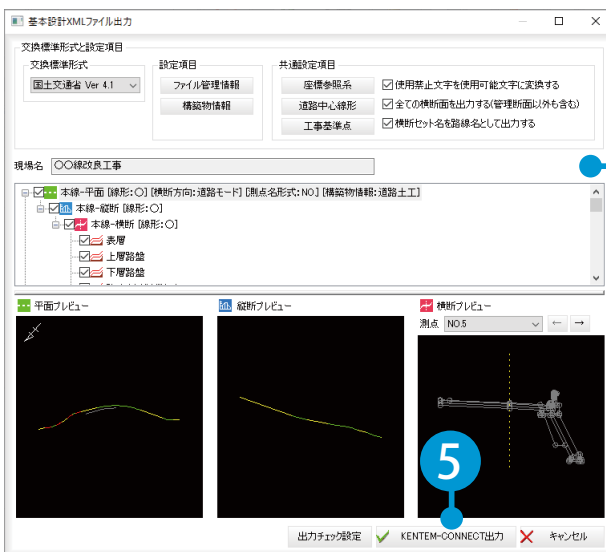
01 | SiTECH 3D にて、[KENTEM-CONNECT 出力] を実行します。

1 画面左上の [ファイル] ボタン→ [KENTEM-CONNECT 出力] → [基本設計 XML] をクリックします。



3D 施工データの作成方法について
3D 施工データの作成方法については、SiTECH 3Dのマニュアルをご確認ください。

2 出力に関する設定を行います。



02 | 転送するデータのアップロード先となる工事データを、クラウド上に作成します。

1 ログインします。

ログイン

ログイン

ichi-kensetsu@kentem.co.jp

1 入力

パスワードを保存する

ログイン 2 キャンセル

[パスワードを変更・忘れた方はこちら](#)

プロキシ設定

2 [新規作成] をクリックします。

クラウドサービスの工事の選択

クラウドサービスの工事を選択してください。

現在関連している工事：未選択

工事名	管理用コメント	工期開始日	工期終了日	現場代表
工事が存在しません。				

更新 新規作成 3 OK キャンセル

すでにクラウド上に工事データを作成済みの場合は、工事を選択し、[OK] をクリックしてください。

3 クラウドサービス管理画面にログインします。(インターネット回線への接続が必要です。)

ログイン

メールアドレス

ichi-kensetsu@kentem.co.jp

パスワード

4 入力

次回から自動的にログイン

ログイン 5

[パスワードを変更・忘れた方はこちら](#)

4 [工事] → [新規工事作成] をクリックします。



5 工事情報を入力します。



6 必要に応じて、メンバーを割当てます。



メンバーを
絞込むことが
できます

メンバー			
<input type="checkbox"/>	名前	メールアドレス	ライセンス
<input checked="" type="checkbox"/>	建設 二郎	jirou-kensetsu@kentem.co.jp	
<input checked="" type="checkbox"/>	建設 三郎	saburou-kensetsu@kentem...	

追加する

03 | 休日設定を行います。

1 [次へ] をクリックします。

建設 二郎 jirou-kensetsu@kentem.co.jp

休日設定を
スキップ
できます。

休日設定をスキップして登録

次へ

2 休日の曜日・祝日を設定します。

メンバー管理

契約情報

セキュリティ

App一覧

組織管理

会社
マスター

休日の基本設定

休日の曜日・祝日を設定

※「工期開始日」・「工期終了日」を設定しないと反映されません。

曜日選択

月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日

日曜日

祝日

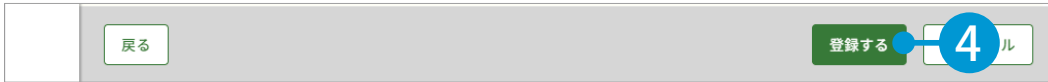
日本の祝日

設定

戻る

次へ

3 休日の詳細を設定したら、[登録する] をクリックします。

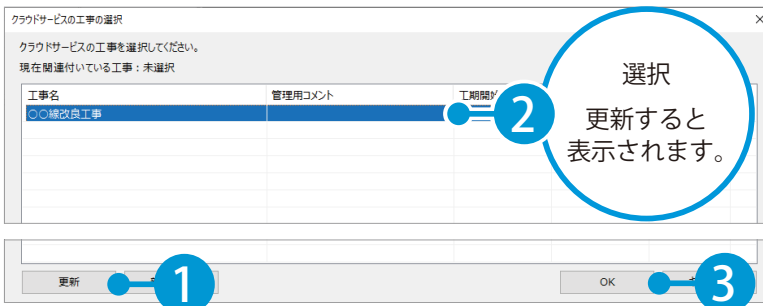


4 クラウドサービス管理画面上に、工事データが新規登録されました。



04 | SiTECH 3D にて、作成したクラウド上の工事データを選択します。

1 SiTECH 3D に戻り、作成したクラウド上の工事データを選択します。

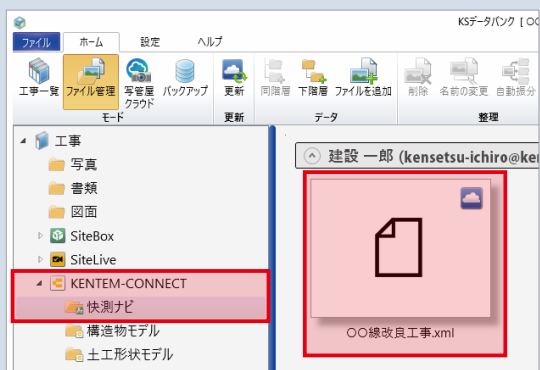


2 ファイル名を入力します。



出力した 3D 施工データについて

出力した 3D 施工データは、「KS データバンク」にアップロードされます。



STEP 05

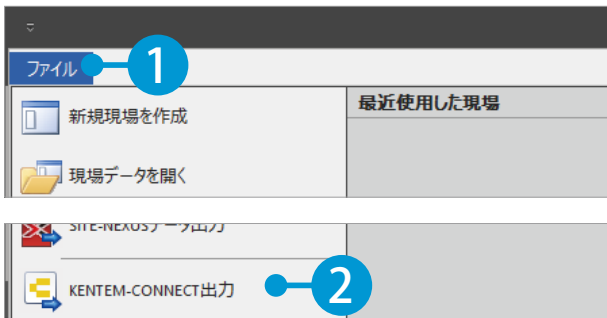
SiTE-Scope のデータを転送する

SiTE-Scope のデータを KENTEM-CONNECT (KS データバンク) へ転送します。

「SiTE-Scope」の手順が含まれます。

01 | SiTE-Scope にて、[KENTEM-CONNECT 出力] を実行します。

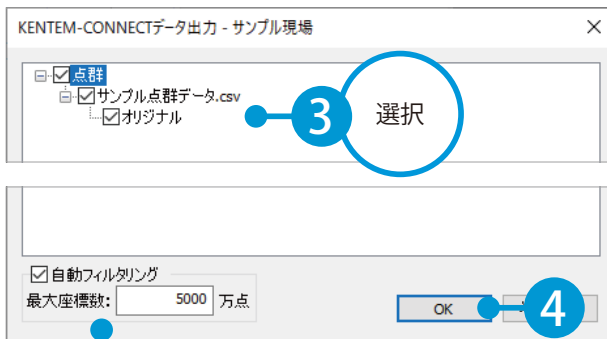
1 [ファイル] → [KENTEM-CONNECT 出力] をクリックします。



SiTE-Scope の操作について

SiTE-Scope の操作については、
SiTE-Scope のマニュアルをご確認ください。

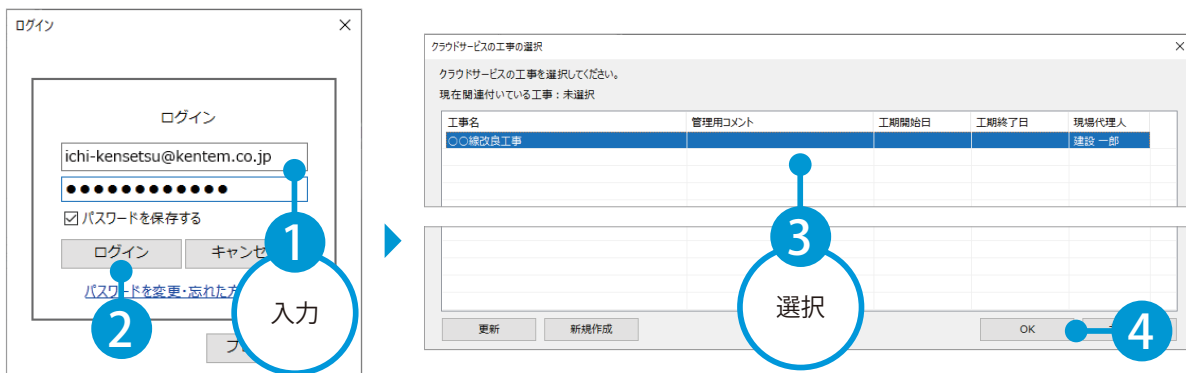
2 出力する SiTE-Scope データを選択します。



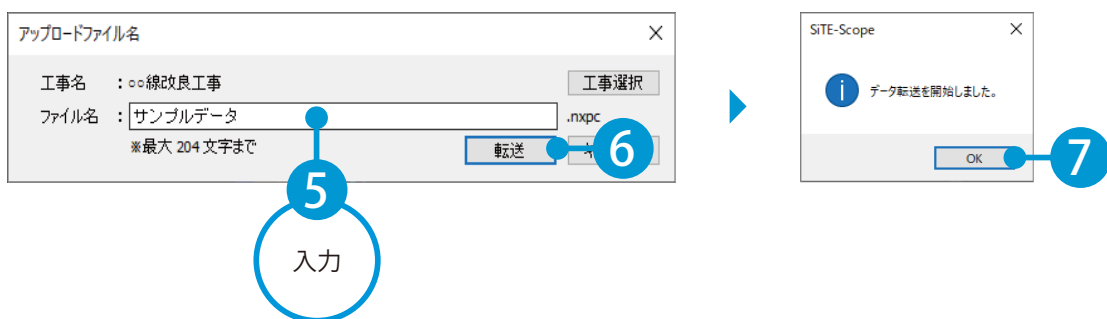
チェックを付けると、
設定した最大座標数に
収まるように
フィルタリングして
出力できます。

02 | 転送するデータのアップロード先となる工事データを選択します。

- 1** ログインして、工事データを選択します。
 ※クラウドサービスの工事の選択画面に工事がない場合は、P10の「02」の手順をご確認いただき、新規で工事を作成してください。

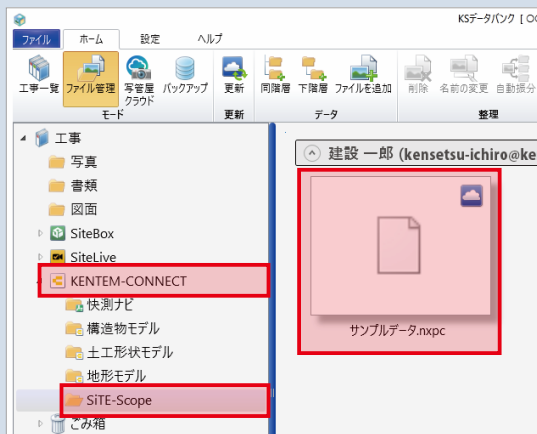


- 2** ファイル名を入力します。



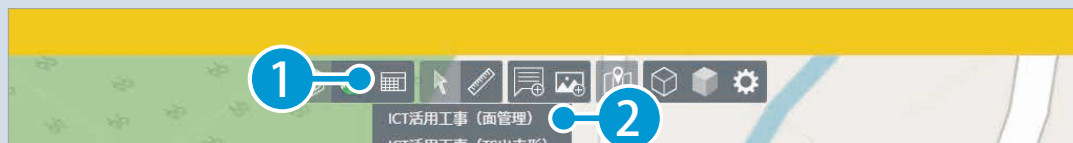
転送した SiTE-Scope データについて

転送した SiTE-Scope データは、「KS データバンク」にアップロードされます。



出来形合否判定総括表の作成について

ホーム画面で取り込んだ SiTE-Scope データから、出来形合否判定総括表を作成できます。



KENTEM-CONNECT

ICT活用工事 (面管理) | ICT活用工事 (出来形)

検索: 00 編集: 10 検索: 一部

戻る | 帳票選択 | 1/1 | 次へ | 設定 | PDF出力

様式-01-0 出来形合否判定総括表

工種		測点				測点	
種別	経路竣工	規格値	判定	社内規格値	判定	合格判定結果	異常値有
平橋 標準仕様	平均値	+20mm	±50		±40		
	最大値	+157mm	±50	異常値有	±120	異常値有	
	最小値	-143mm	±50		±120	異常値有	
	データ数	3149	1.8% (512以上) 93.6% (512以下)				
	評価面積	3149 m ²					
法橋 標準仕様	平均値	+55mm	-80		-84		
	最大値	+807mm	-80	異常値有	-152~+126	異常値有	
	最小値	-194mm	-80	異常値有	-152~+126	異常値有	
	データ数	1502	1.8% (512以上) 98.2% (512以下)				
	評価面積	1502 m ²					

規格値:平均のデータ数 (割合)	
合格判定結果	±50以内
異常値有	±120以内
異常値有	±150以内
異常値有	±200以内
異常値有	±250以内
異常値有	±300以内
異常値有	±350以内
異常値有	±400以内
異常値有	±450以内
異常値有	±500以内
異常値有	±550以内
異常値有	±600以内
異常値有	±650以内
異常値有	±700以内
異常値有	±750以内
異常値有	±800以内
異常値有	±850以内
異常値有	±900以内
異常値有	±950以内
異常値有	±1000以内
異常値有	±1050以内
異常値有	±1100以内
異常値有	±1150以内
異常値有	±1200以内
異常値有	±1250以内
異常値有	±1300以内
異常値有	±1350以内
異常値有	±1400以内
異常値有	±1450以内
異常値有	±1500以内
異常値有	±1550以内
異常値有	±1600以内
異常値有	±1650以内
異常値有	±1700以内
異常値有	±1750以内
異常値有	±1800以内
異常値有	±1850以内
異常値有	±1900以内
異常値有	±1950以内
異常値有	±2000以内
異常値有	±2050以内
異常値有	±2100以内
異常値有	±2150以内
異常値有	±2200以内
異常値有	±2250以内
異常値有	±2300以内
異常値有	±2350以内
異常値有	±2400以内
異常値有	±2450以内
異常値有	±2500以内
異常値有	±2550以内
異常値有	±2600以内
異常値有	±2650以内
異常値有	±2700以内
異常値有	±2750以内
異常値有	±2800以内
異常値有	±2850以内
異常値有	±2900以内
異常値有	±2950以内
異常値有	±3000以内
異常値有	±3050以内
異常値有	±3100以内
異常値有	±3150以内
異常値有	±3200以内
異常値有	±3250以内
異常値有	±3300以内
異常値有	±3350以内
異常値有	±3400以内
異常値有	±3450以内
異常値有	±3500以内
異常値有	±3550以内
異常値有	±3600以内
異常値有	±3650以内
異常値有	±3700以内
異常値有	±3750以内
異常値有	±3800以内
異常値有	±3850以内
異常値有	±3900以内
異常値有	±3950以内
異常値有	±4000以内
異常値有	±4050以内
異常値有	±4100以内
異常値有	±4150以内
異常値有	±4200以内
異常値有	±4250以内
異常値有	±4300以内
異常値有	±4350以内
異常値有	±4400以内
異常値有	±4450以内
異常値有	±4500以内
異常値有	±4550以内
異常値有	±4600以内
異常値有	±4650以内
異常値有	±4700以内
異常値有	±4750以内
異常値有	±4800以内
異常値有	±4850以内
異常値有	±4900以内
異常値有	±4950以内
異常値有	±5000以内
異常値有	±5050以内
異常値有	±5100以内
異常値有	±5150以内
異常値有	±5200以内
異常値有	±5250以内
異常値有	±5300以内
異常値有	±5350以内
異常値有	±5400以内
異常値有	±5450以内
異常値有	±5500以内
異常値有	±5550以内
異常値有	±5600以内
異常値有	±5650以内
異常値有	±5700以内
異常値有	±5750以内
異常値有	±5800以内
異常値有	±5850以内
異常値有	±5900以内
異常値有	±5950以内
異常値有	±6000以内
異常値有	±6050以内
異常値有	±6100以内
異常値有	±6150以内
異常値有	±6200以内
異常値有	±6250以内
異常値有	±6300以内
異常値有	±6350以内
異常値有	±6400以内
異常値有	±6450以内
異常値有	±6500以内
異常値有	±6550以内
異常値有	±6600以内
異常値有	±6650以内
異常値有	±6700以内
異常値有	±6750以内
異常値有	±6800以内
異常値有	±6850以内
異常値有	±6900以内
異常値有	±6950以内
異常値有	±7000以内
異常値有	±7050以内
異常値有	±7100以内
異常値有	±7150以内
異常値有	±7200以内
異常値有	±7250以内
異常値有	±7300以内
異常値有	±7350以内
異常値有	±7400以内
異常値有	±7450以内
異常値有	±7500以内
異常値有	±7550以内
異常値有	±7600以内
異常値有	±7650以内
異常値有	±7700以内
異常値有	±7750以内
異常値有	±7800以内
異常値有	±7850以内
異常値有	±7900以内
異常値有	±7950以内
異常値有	±8000以内
異常値有	±8050以内
異常値有	±8100以内
異常値有	±8150以内
異常値有	±8200以内
異常値有	±8250以内
異常値有	±8300以内
異常値有	±8350以内
異常値有	±8400以内
異常値有	±8450以内
異常値有	±8500以内
異常値有	±8550以内
異常値有	±8600以内
異常値有	±8650以内
異常値有	±8700以内
異常値有	±8750以内
異常値有	±8800以内
異常値有	±8850以内
異常値有	±8900以内
異常値有	±8950以内
異常値有	±9000以内
異常値有	±9050以内
異常値有	±9100以内
異常値有	±9150以内
異常値有	±9200以内
異常値有	±9250以内
異常値有	±9300以内
異常値有	±9350以内
異常値有	±9400以内
異常値有	±9450以内
異常値有	±9500以内
異常値有	±9550以内
異常値有	±9600以内
異常値有	±9650以内
異常値有	±9700以内
異常値有	±9750以内
異常値有	±9800以内
異常値有	±9850以内
異常値有	±9900以内
異常値有	±9950以内
異常値有	±10000以内

※1: 3Dマップは算出点を含むデータを表示

STEP 06

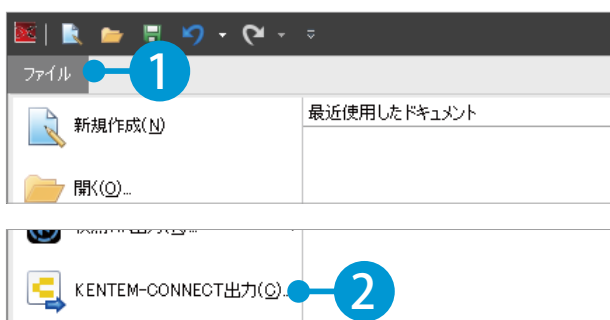
SiTE-NEXUS のデータを転送する

SiTE-NEXUS のデータを KENTEM-CONNECT (KS データバンク) へ転送します。

「SiTE-NEXUS」の手順が含まれます。

01 | SiTE-NEXUS にて、[KENTEM-CONNECT 出力] を実行します。

- 1 [ファイル] → [KENTEM-CONNECT 出力] をクリックします。

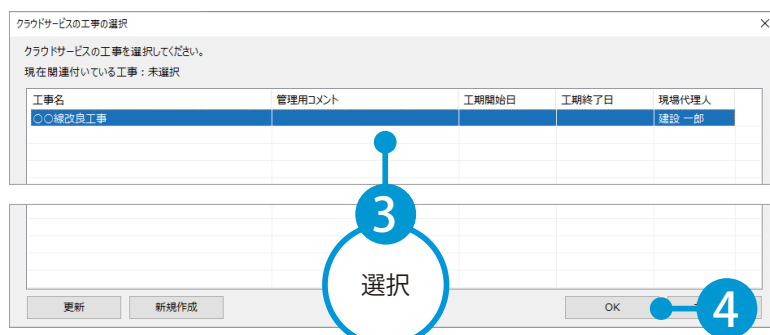
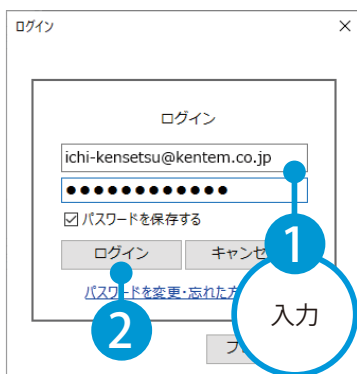


SiTE-NEXUS の操作について

SiTE-NEXUS の操作については、
SiTE-NEXUS のマニュアルをご確認ください。

02 | 転送するデータのアップロード先となる工事データを選択します。

- 1 ログインして、工事データを選択します。
※クラウドサービスの工事の選択画面に工事が無い場合は、P10の「02」の手順をご確認いただき、新規で工事を作成してください。



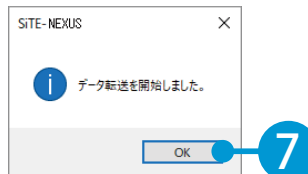
2 ファイル名を入力します。

アップロードファイル名

工事名: 〇〇線改良工事

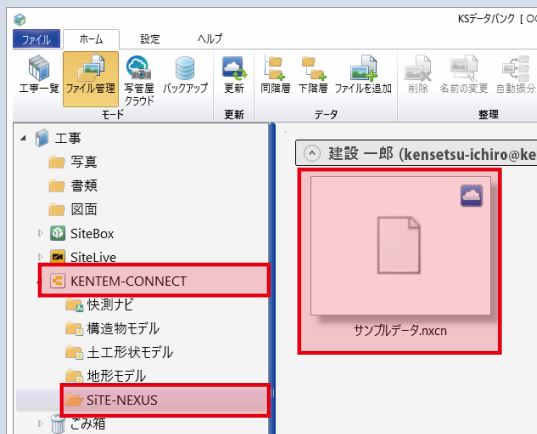
ファイル名: サンプルデータ .nxcn

5
入力



転送した SITE-NEXUS データについて

転送した SITE-NEXUS データは、「KS データバンク」にアップロードされます。



STEP

07

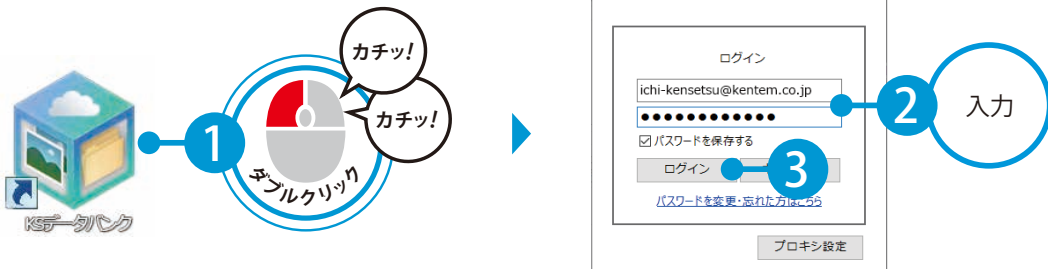
ファイルをKSデータバンクにアップロードする

IFC ファイル (構造物モデル) や XML ファイル (地形モデル)、平面図などのファイルを KS データバンクにアップロードします。

「KS データバンク」の手順が含まれます。

01 | KS データバンクを起動します。

- 1 KS データバンクを起動し、ログインします。

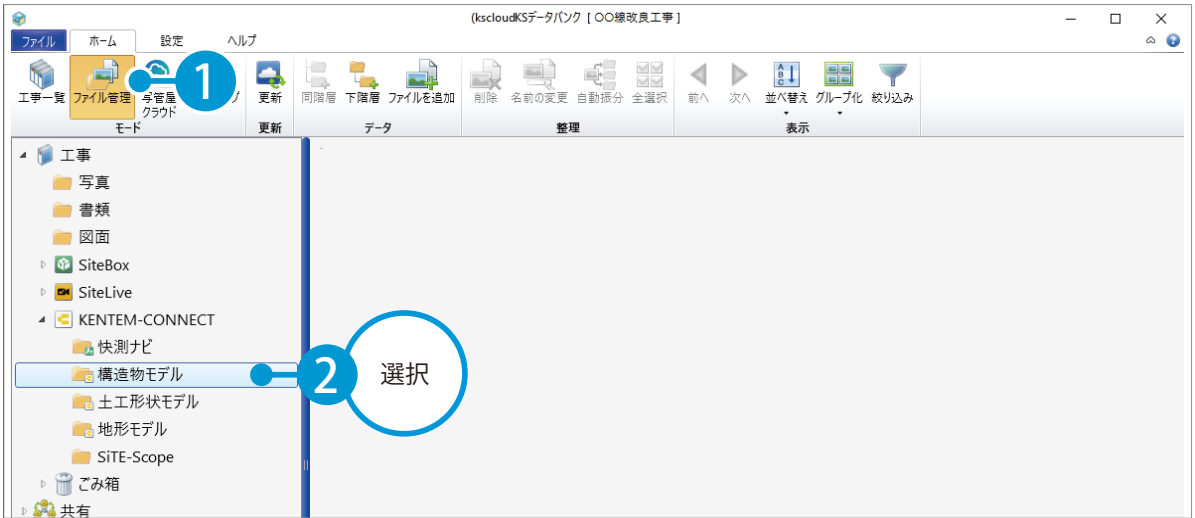


- 2 クラウド上の工事データを選択します。

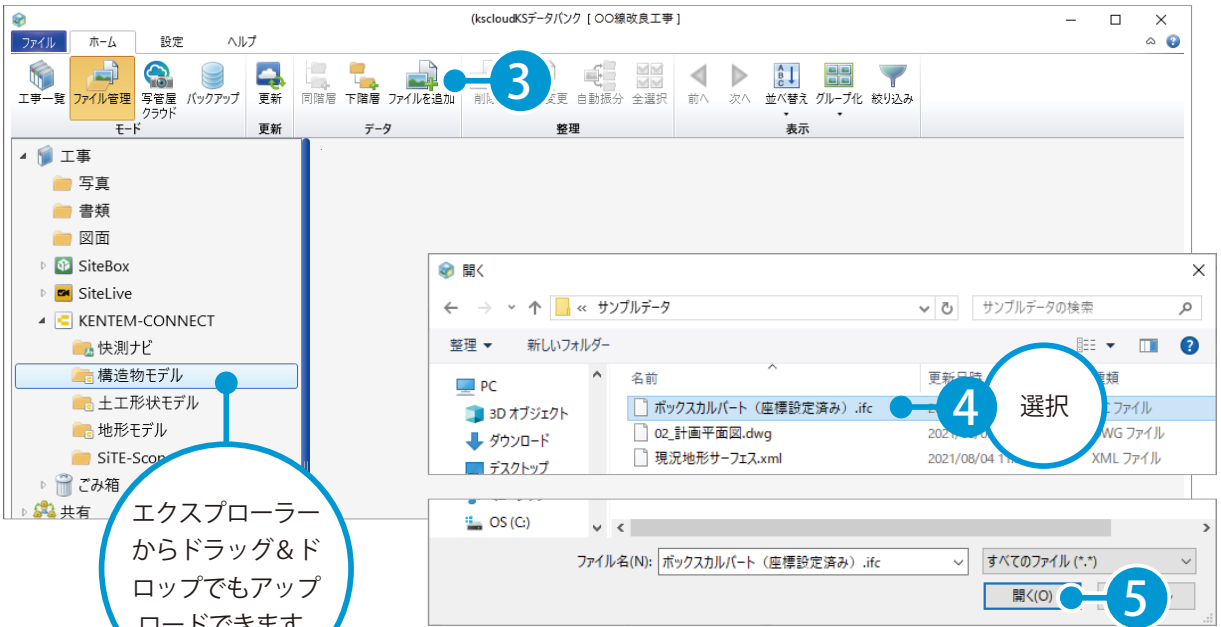


02 | ファイルをアップロードします。

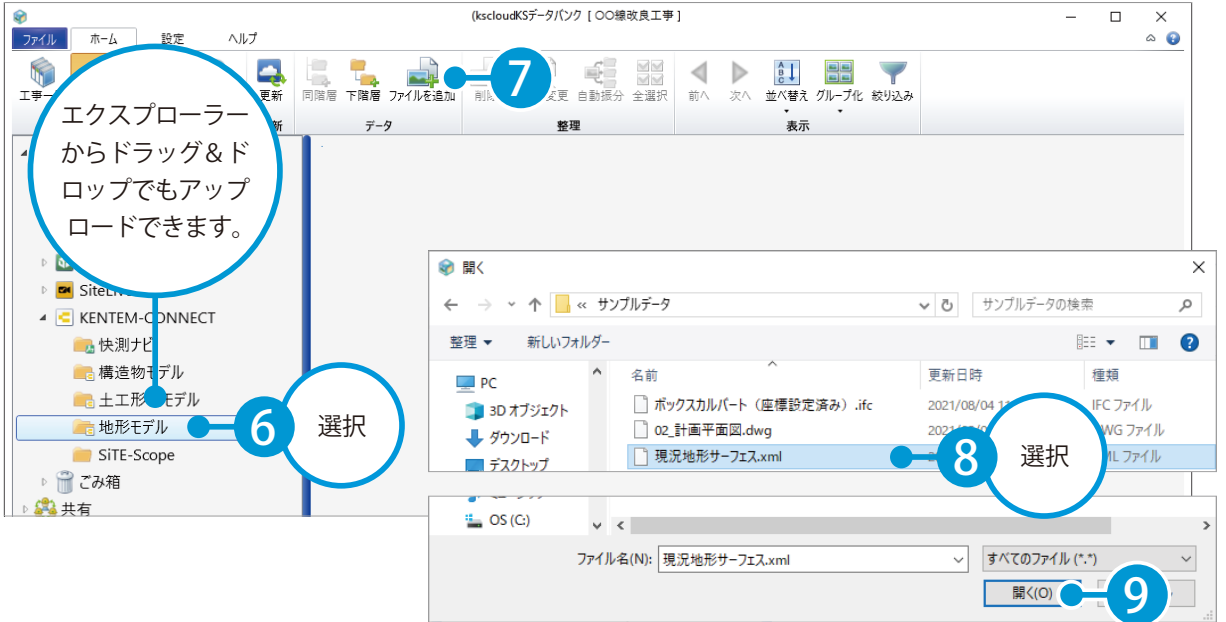
1 構造物モデルフォルダーを選択します。



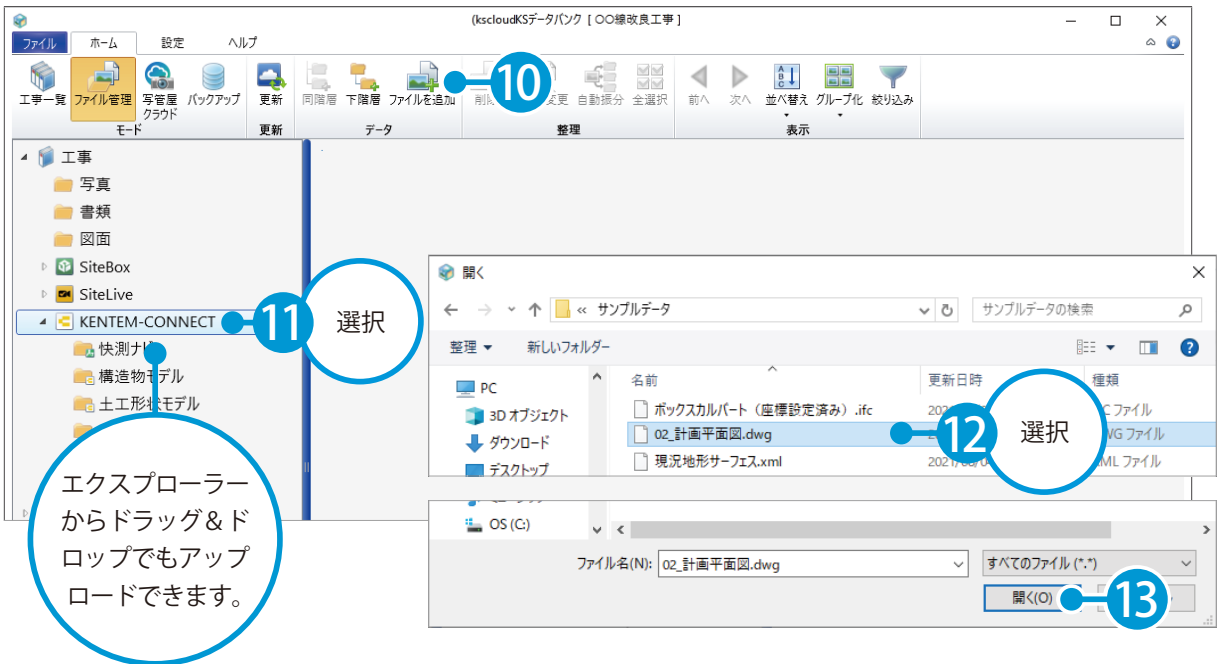
2 IFC ファイルをアップロードします。



3 同様に、地形モデルフォルダーに XML ファイルをアップロードします。



4 同様に、KENTEM-CONNECT フォルダーに図面ファイルをアップロードします。



STEP

08

KS データバンクからファイルを取り込む

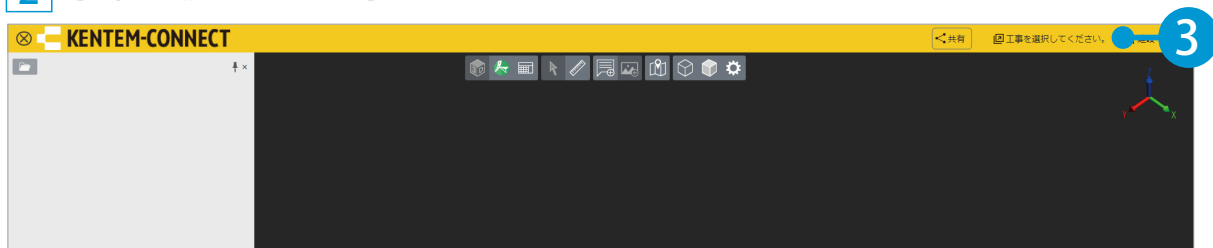
KS データバンクにアップロードしたファイルを取り込み、3D ビューで確認します。

01 | KENTEM-CONNECT を起動します。

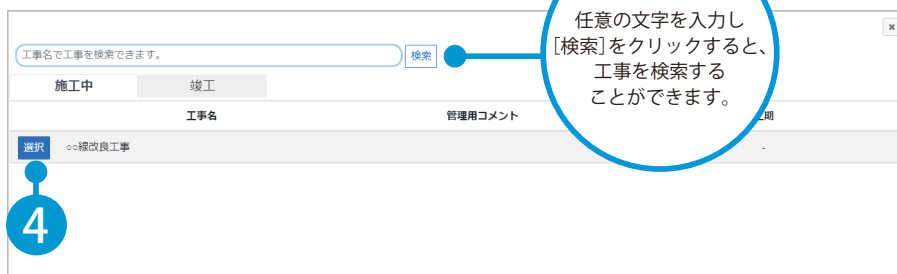
1 [ホーム] の利用可能なアプリ一覧から [KENTEM-CONNECT] をクリックします。



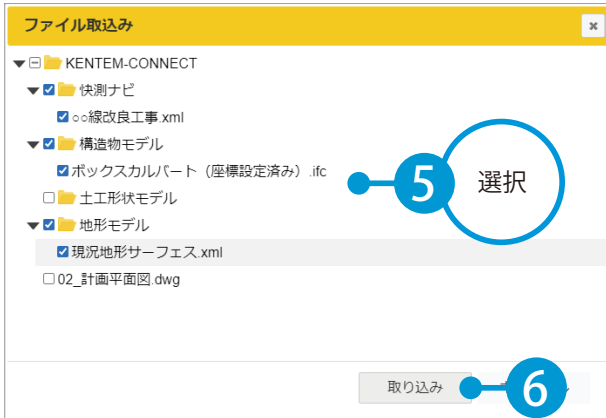
2 [工事を選択してください。] をクリックします。



3 工事を選択します。



4 取り込むファイルを選択します。



座標参照系の設定画面が 表示された場合

工事ごとに KENTEM-CONNECT を初めて起動した際、座標参照系の設定画面が表示されます。
任意の水平座標系を選択してください。

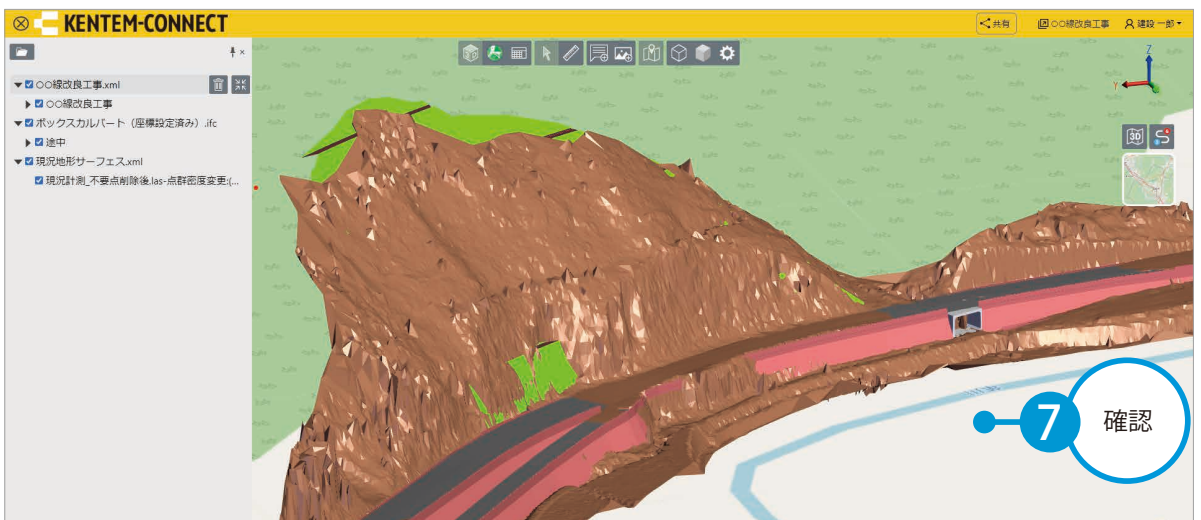
LandXML/TSXML 補間間隔設定画面が表示された場合

LandXML ファイルまたは TSXML ファイルを取り込むと、LandXML/TSXML 補間間隔設定画面が表示されます。

補間間隔を設定する場合は、「読み込んだ LandXML/TSXML【基本設計データ】の断面を補間する」にチェックを付けます。データ内の副測点間隔で補間する場合は、「路線に設定されている副測点間隔で断面を補間する」にチェックを付けます。任意に指定する場合は、「任意の計算間隔で断面を補間する」にチェックを付け、計算間隔を設定してください。



5 3D ビューにて、取り込んだファイルを確認します。



ファイルの表示 / 非表示について

画面左のモデルツリーのチェックボックスで、表示 / 非表示の切り替えが可能です。



3D ビューのマウス操作について

右ドラッグ

ドラッグする方向に回転します。

マウスホイールドラッグ

ドラッグする方向に平行移動します。

マウスホイール回転

マウスカーソルを中心に拡大・縮小します。

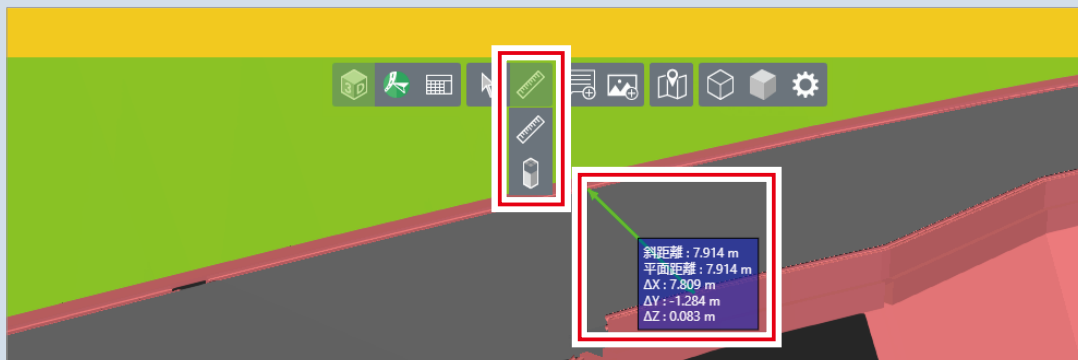
スナップについて

画面左下のスナップにて、3D ビュー上での端点や中点などのサーチ設定の切り替えが可能です。



距離・座標の計測について

画面上部のツールバーにて、距離または座標の計測が可能です。



計測精度について

3D 地図は標高データ（5m メッシュ、10m メッシュ）を元に作成されるため、計測結果に誤差が生じる場合があります。

また、3D 地図の表示状態（縮小表示）により、計測結果の誤差が大きくなる場合があります。あくまでも参考値としてご使用ください。

※モデルに対しての計測については、正確に計測されます。

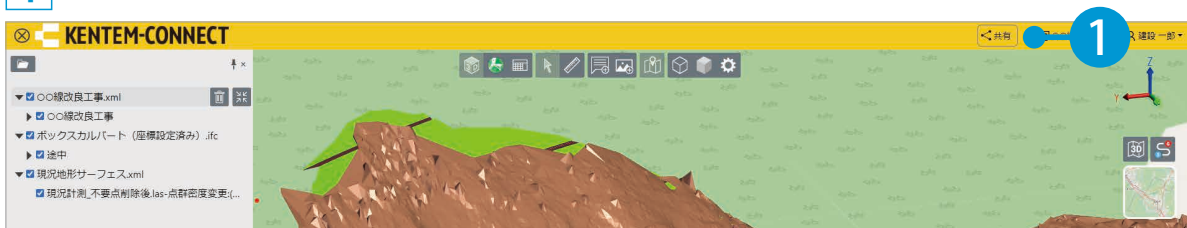
STEP 09

3D データを共有する

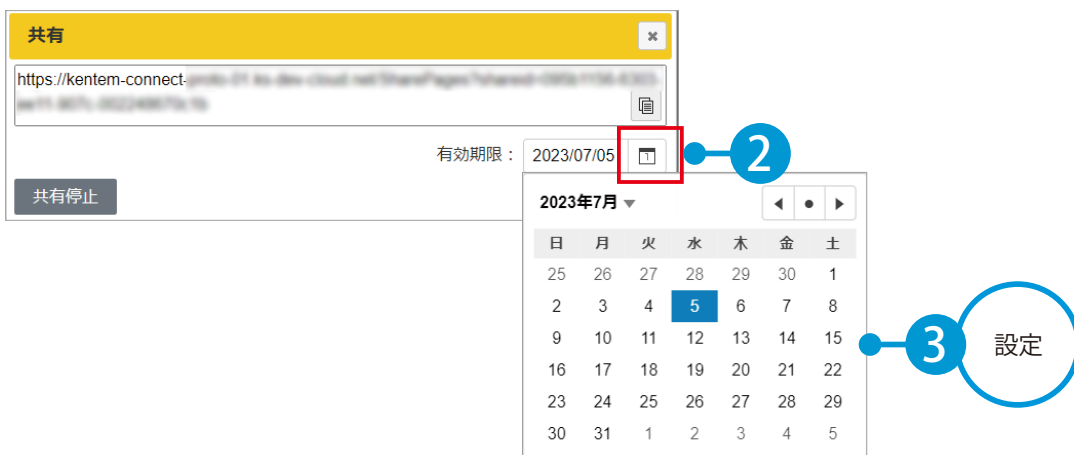
共有リンクを発行して、『KENTEM-CONNECT』を購入していない方でも 3D データを共有してブラウザ上で閲覧できるようにします。

01 | 3D データを共有します。

1 [共有] をクリックします。




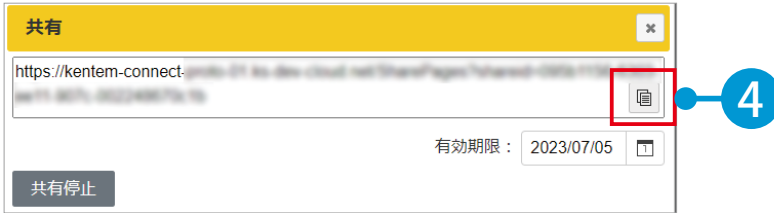
2 [] をクリックして、有効期限を設定します。



有効期限について

設定した有効期限を過ぎると、共有された URL にアクセスできなくなります。

3  をクリックして、URL をコピーします。



4 メール等に URL を貼り付け、関係者等に共有してください。

共有リンクページでの注意事項

共有リンクページは、閲覧専用のため利用できる機能に制限があります。

共有後のデータ編集について

共有後データを編集した場合も、共有リンクページは、常に最新の状態で閲覧することができます。


STEP

10

3D データの任意の位置にメモを追加する

3D データ上にピンを配置し、メモを追加します。

01 | ピンを配置し、メモ情報を入力します。

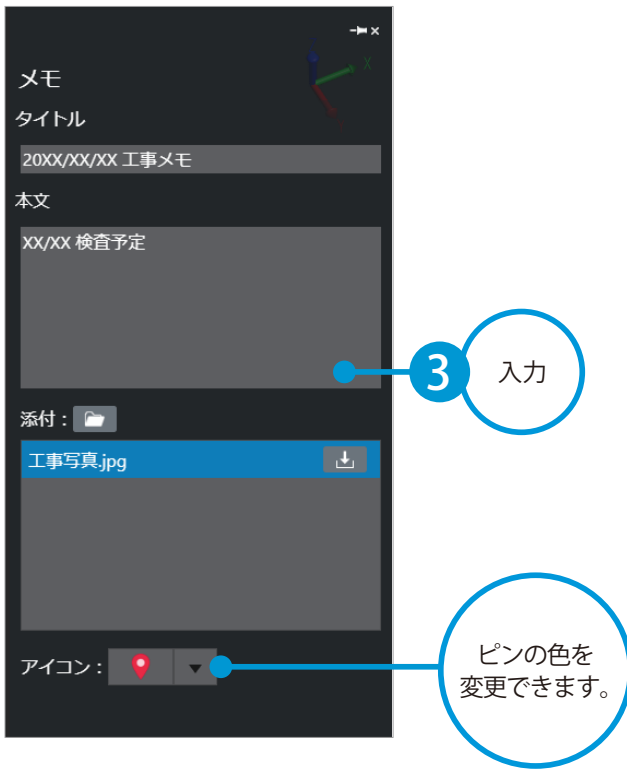
1  をクリックします。





2 3D ビュー上でピンを配置したい 3D データの任意の位置をクリックします。



3 メモ情報欄の各項目を入力します。



ファイル添付について

メモには、KS データバンク上のファイル、またはローカルファイルを添付することができます。添付欄の  をクリックし、ファイルを選択してください。添付したファイルは、 より、ダウンロードすることも可能です。

追加したメモを確認・編集したい場合

モデルツリーにてメモを選択するか、または 3D ビュー上にて選択ツールを使用しピンを選択し、メモを確認・編集してください。

STEP

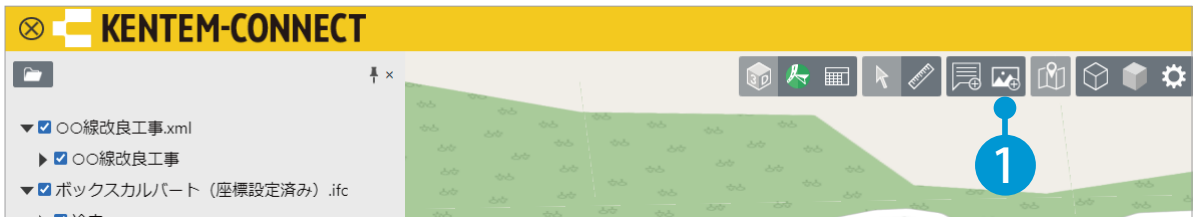
11

画像・動画ファイルを取り込む

3D データ上に位置情報付きの 360 度画像または動画ファイルを取り込みます。

01 | 360 度画像または動画ファイルを取り込みます。

1  をクリックします。



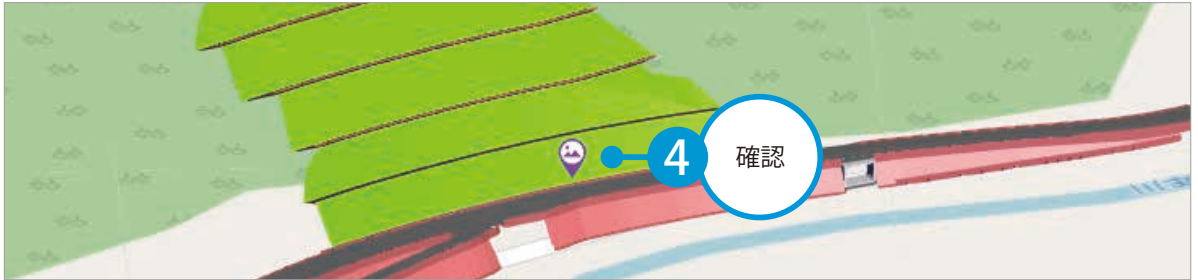
2 取り込む 360 度画像または動画ファイルを選択します。



取り込み可能なファイルについて

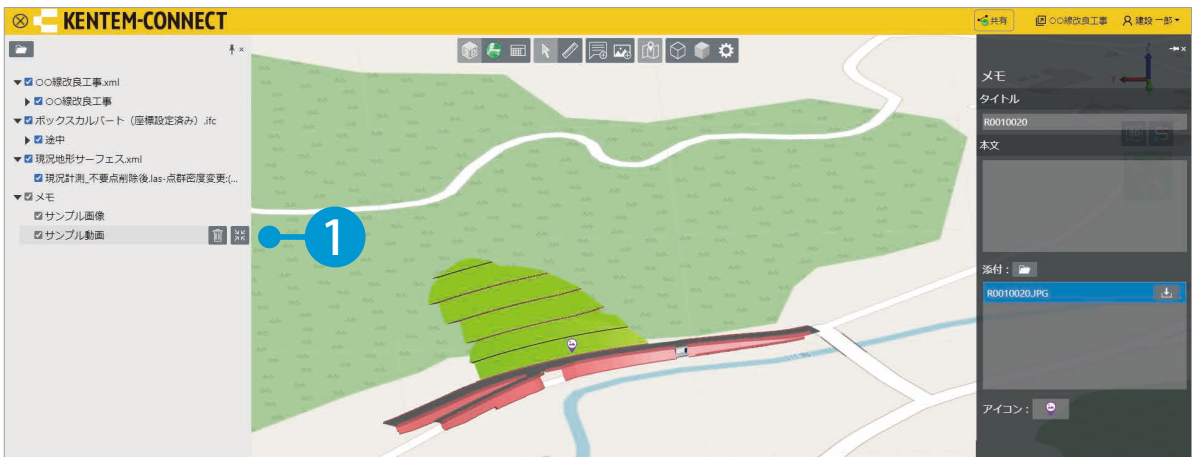
位置情報付きの 360 度画像または動画ファイルのみが取り込みの対象となります。
また、取り込めるファイル形式は、以下の通りです。
jpg、jpeg、mp4

- 3 画像または動画ファイルが取り込まれたことを確認します。

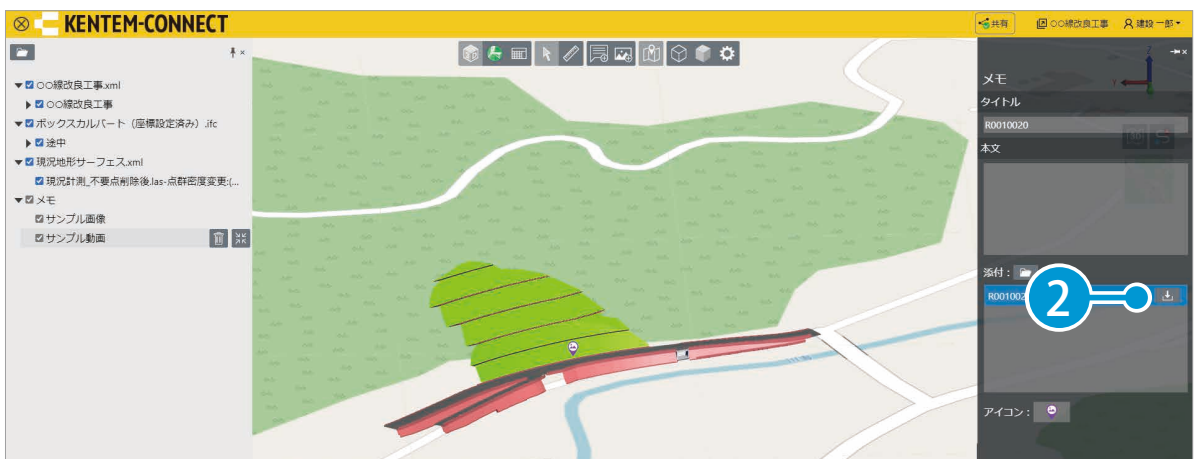


02 | 360度画像または動画ファイルを表示します。

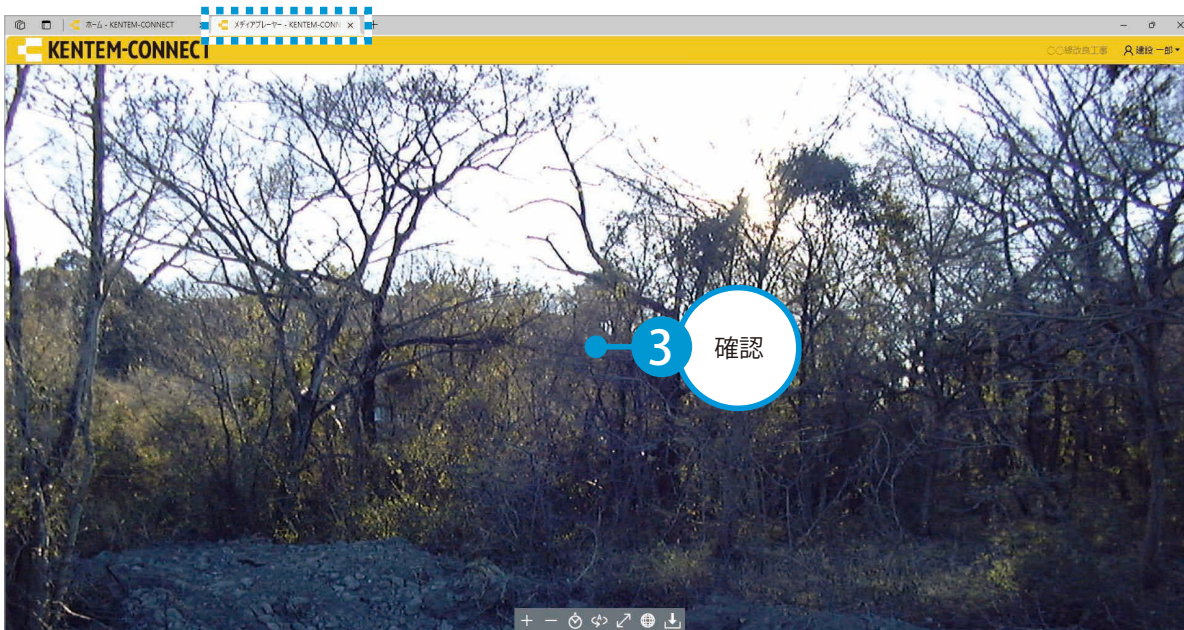
- 1 モデルツリーにて、表示したい360度画像または動画ファイルの情報が登録されているメモをクリックします。



- 2 画面右側のメモ情報の添付欄にて、 をクリックします。



3 新しいタブが開き、360 度画像または動画が表示されるので確認してください。



ツールバー・コントロールバーについて

画像ファイルを表示している場合は、ツールバーが表示されます。
 動画ファイルを表示している場合は、ツールバーおよびビデオコントローラーが表示されます。
 ※選択しているファイル形式によって表示されるツールバーは異なります。

ツールバー		画像を拡大・縮小します。
		画像の表示位置を元の状態に戻します。
		画像を自動で 360 度回転 / 停止します。
		画像のフルスクリーン表示 / フルスクリーン表示の解除をします。
		360 度画像の表示方法をミラーボール / ストレートに切り替えます。
ビデオコントローラー		画像または動画をダウンロードします。
		動画を再生 / 一時停止します。
		動画のループ再生 / ループ再生の解除をします。
		音量を調整します。

STEP

12

快測ナビで KENTEM-CONNECT と連携する

快測ナビで KENTEM-CONNECT と連携した新規現場を作成し、3D 施工データを取り込みます。

快測ナビと KENTEM-CONNECT の連携について

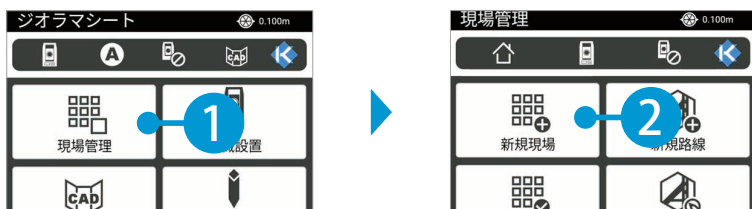
快測ナビと KENTEM-CONNECT を連携するには、「快測ナビ Adv」のご契約が必要となります。「快測ナビ Std」では、連携することができません。

また、連携には新規現場作成および SiTECH 3D での「KENTEM-CONNECT 出力 (P9)」が必要となります。

「快測ナビ」の手順が含まれます。

01 | 新規現場を作成します。

- 1 [現場管理] → [新規現場] をタップします。



- 2 現場種類を選択し、[KENTEM-CONNECT と連携する] にチェックを付けます。
※今回は、[TS 出来形現場] を選択します。



02 | KENTEM-CONNECT と連携します。

1 KENTEM-CONNECT にログインします。



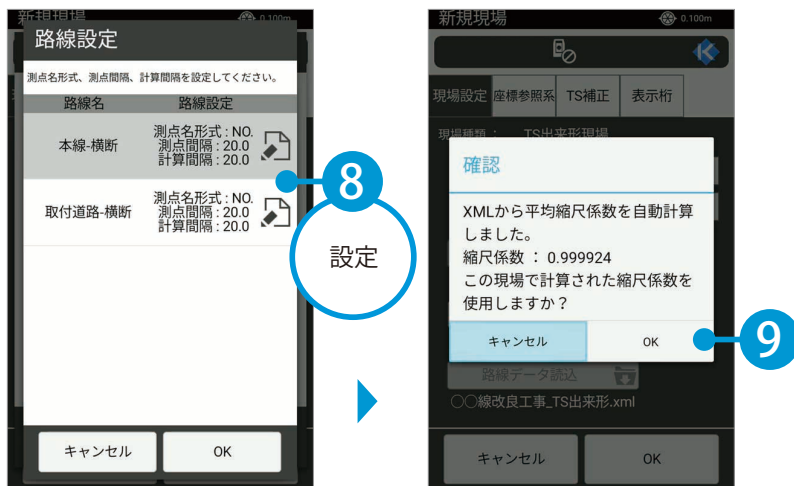
2 クラウド工事を選択します。



3 SiTECH 3D から出力（アップロード）された 3D 施工データを取り込みます。
※ SiTECH 3D での出力（アップロード）手順については、P9 をご確認ください。



4 路線を設定します。



5 現場名、作成者を入力します。




STEP 13

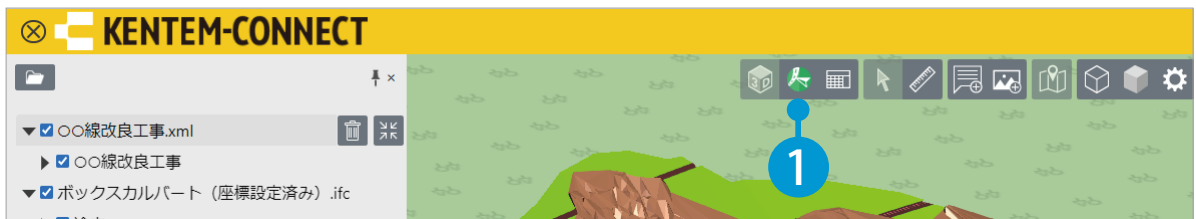
快測ナビモニターを使用する

快測ナビモニターを使用して、快測ナビの計測状況をモニタリングします。
※今回は、快測ナビのTS出来形計測をモニタリングします。

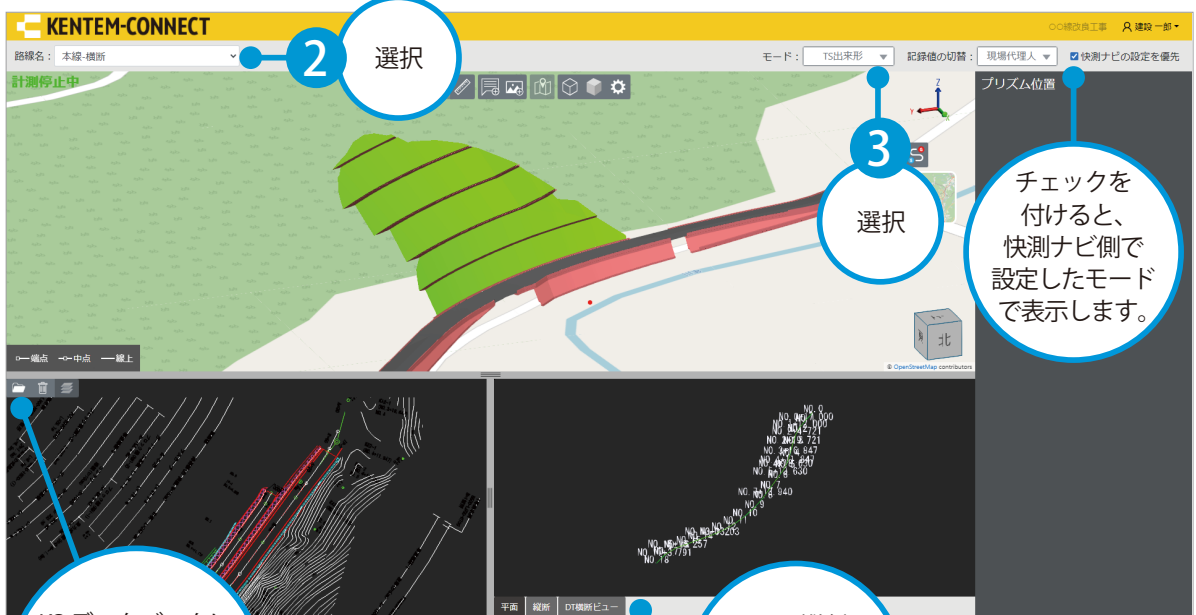
「快測ナビ」の手順が含まれます。

01 | 快測ナビモニターを起動します。

1  をクリックします。



2 路線・モードを選択します。



02 | 快測ナビにて、TS 出来形計測を実施します。

1 [スマート施工] → [KENTEM-CONNECT] をタップします。



2 [TS 出来形計測] をタップします。

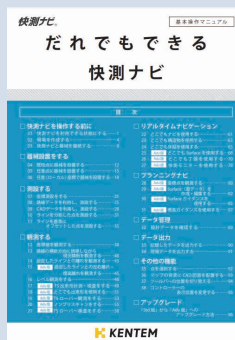


3 観測モードを選択します。

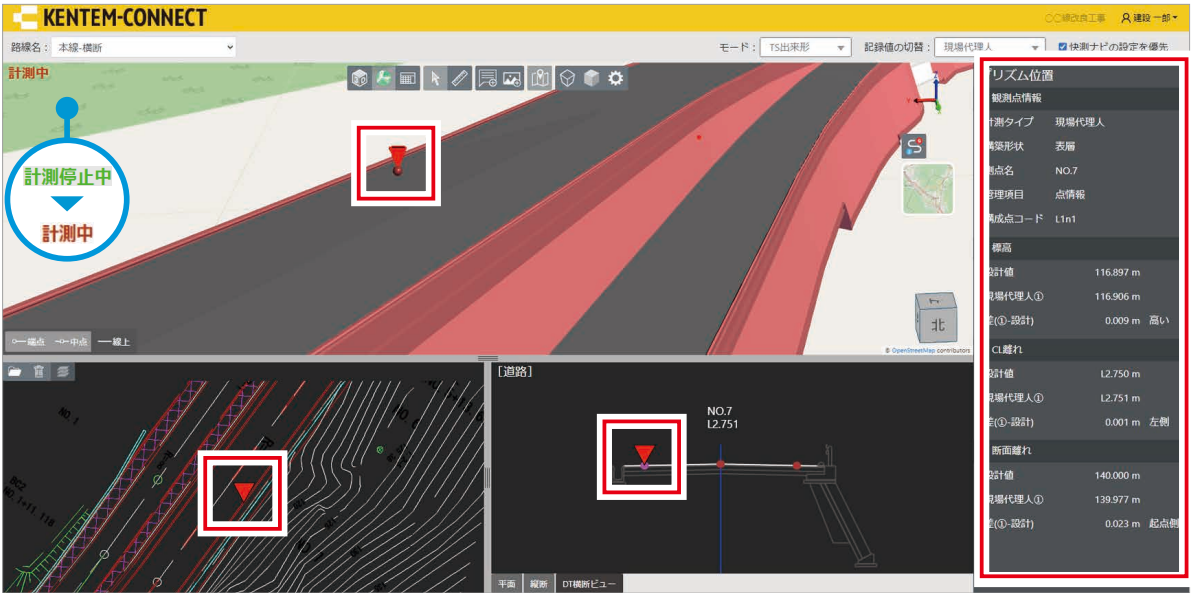


快測ナビの操作の詳細について

快測ナビの操作の詳細につきましては、快測ナビのマニュアルをご確認ください。

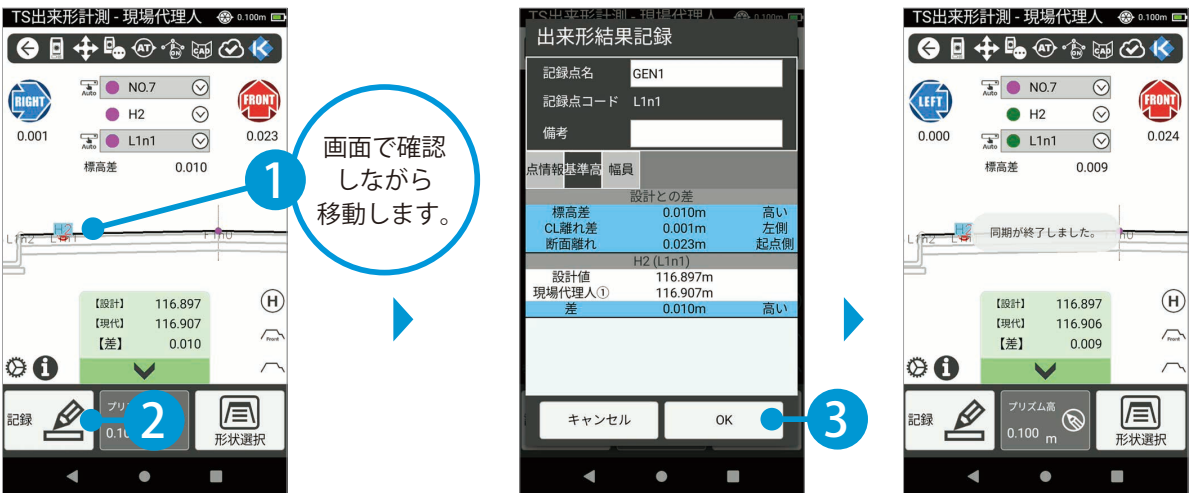


- 4 快測ナビにて観測を開始すると、KENTEM-CONNECT の状態欄が切り替わります。
 また、プリズムの計測位置がリアルタイムに表示されます。
 ※ 3D ビューのマウス操作については、P25 をご確認ください。



03 | 快測ナビにて、出来形計測点を観測します。

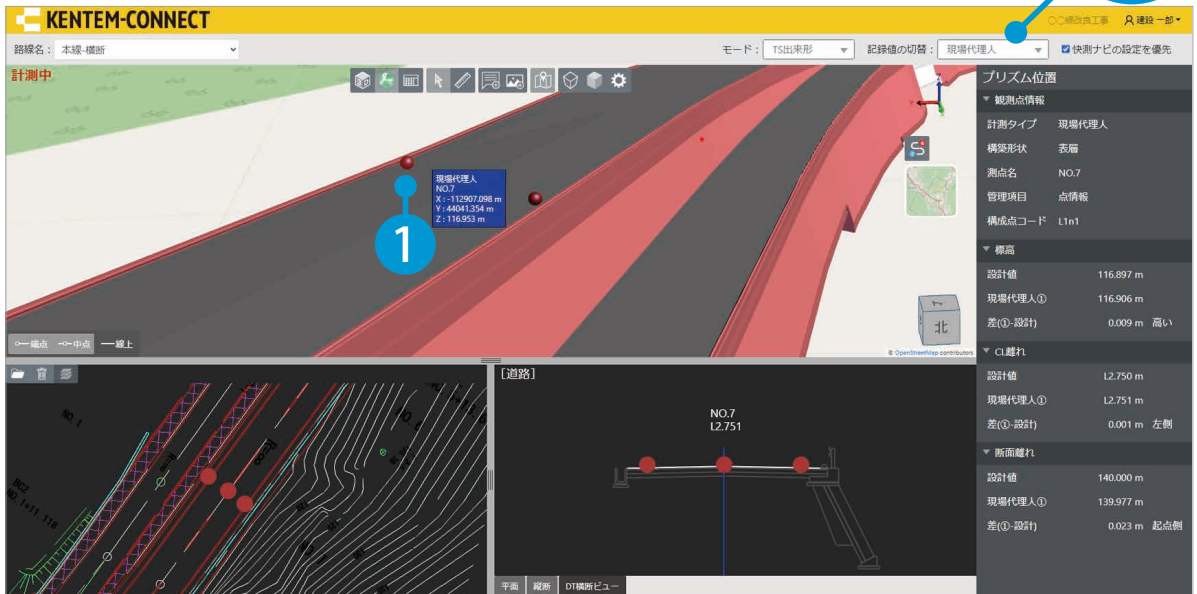
- 1 現在位置が赤い丸で表示されます。設計値に近づきながら、出来形を記録していきます。



04 | 出来形計測点を確認します。

- 1 快測ナビ側で記録した箇所には、マーカーが表示されます。
マーカーをクリックして、測点と座標値を確認します。

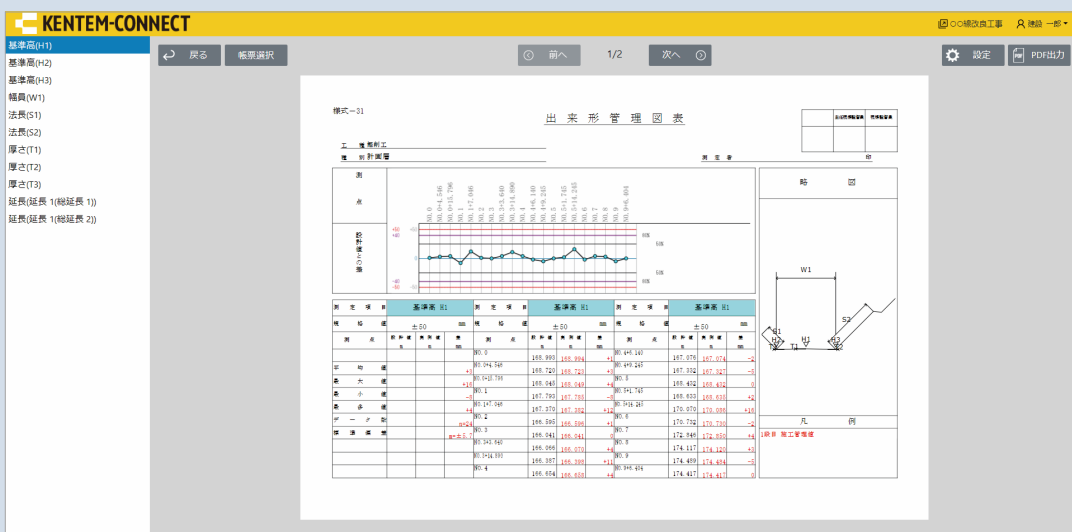
記録値の
切替が可能
です。



出来形管理図表の作成について

記録した実測値をもとに、出来形管理図表を作成できます。

※実測値が登録済みのTSXMLを取り込んでいる場合でも、作成可能です。



STEP

14

遠隔臨場 SiteLive で KENTEM-CONNECT と連携して検査を実施する

遠隔臨場 SiteLive で KENTEM-CONNECT と連携して、検査を実施します。

遠隔臨場 SiteLive と KENTEM-CONNECT の連携について

遠隔臨場 SiteLive と KENTEM-CONNECT を連携するには、「遠隔臨場 SiteLive」のご契約が必要となります。

「遠隔臨場 SiteLive」の手順が含まれます。

01 | 工事を割当てます。

- 1 [契約情報] をクリックし、[遠隔臨場 SiteLive] のアクション欄の [工事の割当て] をクリックします。

クラウドサービス管理画面

遠隔臨場 SiteLive				
アクション	サブID	契約期間	状態	利用工事
工事の割当て		20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	契約中	

- 2 割当ててる工事の [選択] をクリックします。

工事選択

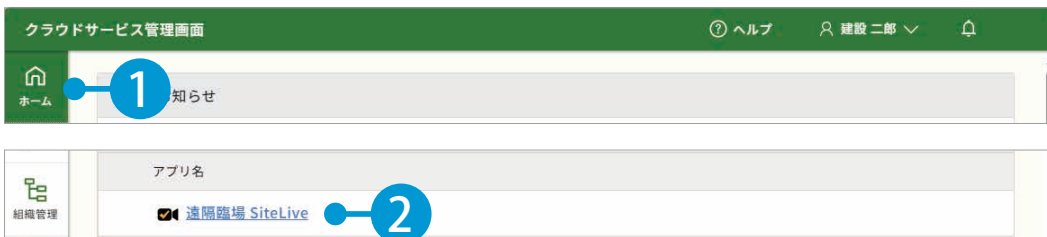
工事名	略称	管理用コメント
〇〇線改良工事		

- 3 工事が割当てられました。

遠隔臨場 SiteLive				
アクション	サブID	契約期間	状態	利用工事
工事の解除	R00...	20XX/XX/XX - 20XX/XX/XX	契約中	〇〇線改良工事

02 | 遠隔臨場 SiteLive を起動し、発注者を招待します。

1 [ホーム] の利用可能なアプリ一覧から [遠隔臨場 SiteLive] をクリックします。



2 [ユーザー管理] をクリックします。



3 [発注者を招待する] をクリックします。



4 招待する発注者のメールアドレスを入力します。



※複数人を招待する場合は、メールアドレスをカンマ(,)で区切って入力してください。

発注者の発注者情報登録について

招待すると、入力したメールアドレスに招待メール「件名：遠隔臨場 SiteLive へのご招待」が送信されます。発注者が「遠隔臨場 SiteLive」を利用するには、招待メールに記載されている URL から、発注者情報の登録を必要があります。招待メールには、有効期限があります。詳細は、「遠隔臨場 SiteLive 基本操作マニュアル」をご確認ください。

03 | 検査を予約します。 ※ここでは、確認・立会検査を予約します。

1 [確認・立会] → [確認・立会を予約する] をクリックします。

遠隔臨場 SiteLive

建設 一郎

〇〇線改良工事 契約終了日：20XX/XX/XX < 工事一覧へ

遠隔臨場

確認・立会を予約する

カレンダー 一覧

予約 実施済み

開催日時	工種	場所	資料
データがありません。			

2 検査内容および開催日時を設定し、[KENTEM-CONNECT と連携する] にチェックを付けます。

遠隔臨場 SiteLive

建設 一郎

〇〇線改良工事 契約終了日：20XX/XX/XX < 工事一覧へ

遠隔臨場

確認・立会 > 確認・立会を予約する

工種 出来形確認

場所 本線NO.7付近

資料

開催日時 20XX/08/16 15時 00分

検査資料 確認資料.xlsx

設定

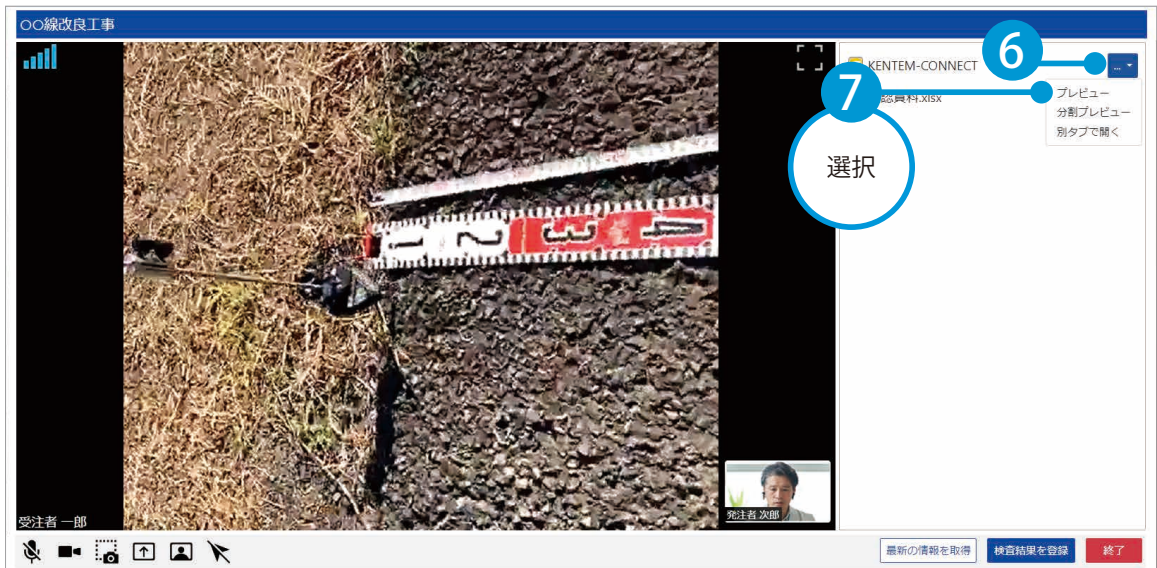
KENTEM-CONNECT と連携する

登録する

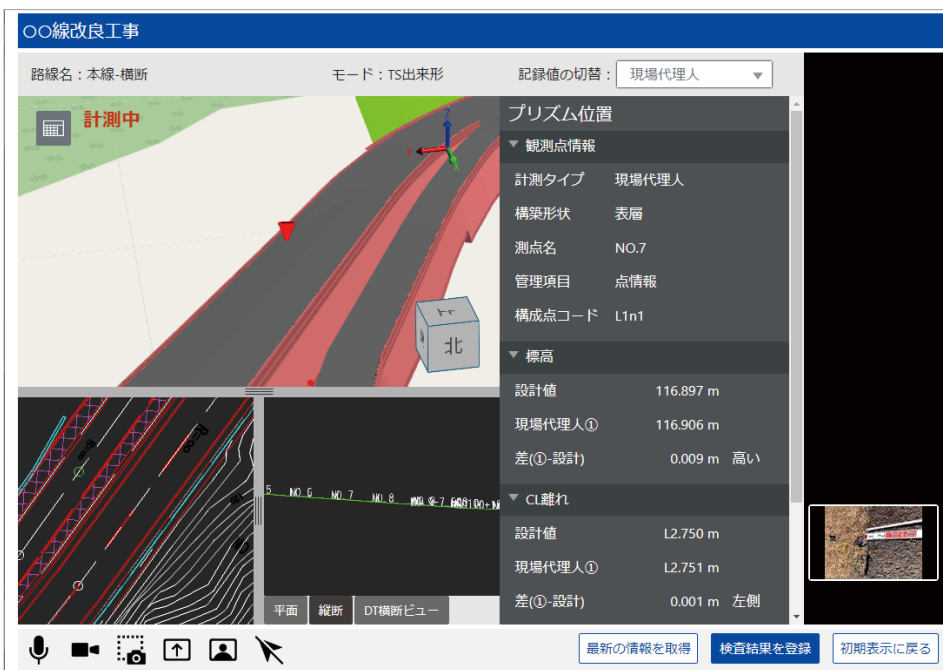
発注者への検査登録メールについて

検査を予約するとき、登録済みの発注者の名前にチェックをすると、メールアドレス宛に検査登録メール「件名：【遠隔臨場 SiteLive】「〇〇工事」の検査が登録されました」が送信されます。発注者は、検査開催日時に、メール本文内の URL から検査に参加することができます。

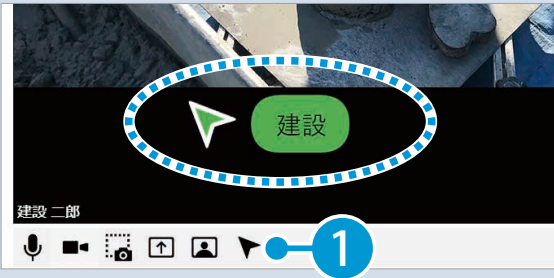
- 4 ... をクリックし、表示されるメニューから表示モードを選択します。
ここでは、[プレビュー] を選択します。



- 5 検査を実施します。



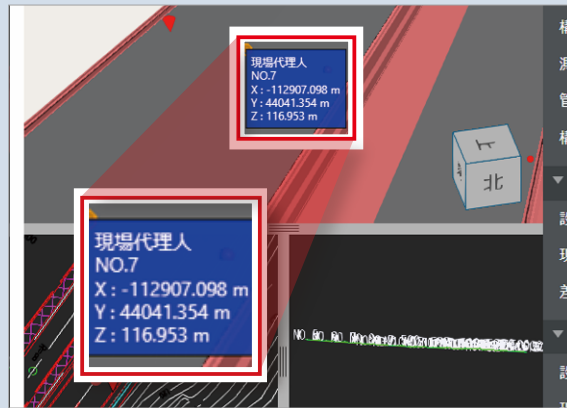
ポインターについて



参加者名付きのポインターを表示し、検査箇所的位置を指示することができます。ポインターはドラッグで移動できます。

記録点の情報を確認したい場合

3D ビュー上の記録点をクリックすると、記録点情報確認することができます。



- 6 検査結果を登録します。
検査結果登録以降の手順につきましては、「遠隔臨場 SiteLive 基本操作マニュアル」をご確認ください。

ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Adobe、Acrobat は Adobe KK（アドビ株式会社）の商標です。

Android™、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

OpenStreetMap® は、OpenStreetMap 財団 (OSMF) が Open Data Commons Open Database License (ODbL) の下にライセンスするオープンデータです。(著作権とライセンス：<https://www.openstreetmap.org/copyright>)

OpenStreetMap® は、OpenStreetMap 財団の登録商標です。

地理院地図は、国土地理院の登録商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

？ ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。



お知らせ



FAQ



マニュアル



サポート

など



KENTEM サポート



株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787

2024 年 12 月 23 日 発行

このマニュアルは、KENTEM-CONNECT 2024 年 12 月リリース版 の画面で作成しています。